

# 旭川水害タイムラインの検討経緯と 今後の取組方針

---

平成29年3月23日

旭川水害タイムライン検討会

---

## 旭川水害タイムラインの検討経緯

### タイムラインとは. . .

- 国や自治体など防災に関わる組織が連携し、事前調整を図り、台風等に対するそれぞれの役割や対応行動を定めた計画
- 計画では『いつ（台風上陸○時間前等）』『誰が（組織）』『何を行うか（避難をはじめとした防災行動計画等）』を明確化

### 旭川におけるタイムラインの検討経緯

- 低平地が広がる岡山平野を抱える旭川の下流部において、関係機関が連携し、住民の生命を守るために先を見越した早期の防災対応を検討する「旭川水害タイムライン検討会」を発足させ、議論を行った。

座長：松尾一郎（特定非営利活動法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所 副所長）

アドバイザー：前野詩朗（岡山大学大学院環境生命化学研究科 教授）、村中 明（元気象庁予報課長）

<検討会への参加機関>

参加機関：岡山市、岡山県、岡山県警察本部、陸上自衛隊日本原駐屯地、中国電力(株) 岡山支社、西日本電信電話(株) 岡山支店、岡山ガス(株)、西日本旅客鉄道(株) 岡山支社、岡山電気軌道(株)、両備ホールディングス(株)、八晃運輸(株)、宇野自動車(株)、日本放送協会 岡山放送局、山陽放送(株)、岡山放送(株)、テレビせとうち(株)、西日本放送(株)、(株)瀬戸内海放送、岡山ネットワーク(株)、岡山シティエフエム、岡山都市整備(株)、(株)天満屋、山陽 S C 開発(株)、ペスカ岡山 防災センター、N P O 法人まちづくり推進機構 岡山、岡山地方気象台、岡山国道事務所、岡山河川事務所  
全 27 機関 ※参加団体名は順不同

# 旭川水害タイムラインの検討経緯

## <旭川水害タイムライン検討会の経緯>

(発足式) 平成28年1月28日 「発足式」

(勉強会) 平成28年2月23日 「水災害・防災に関する勉強会」  
近年の雨の降り方の傾向 旭川の特性 鬼怒川豪雨について

(勉強会) 平成28年3月17日 「水災害・防災に関する勉強会」  
現地視察 岡山での降雨の傾向

(第1回) 平成28年7月27日 テーマ「何を」

(検討会) 「何を」をテーマに、5つのグループに分かれて、各機関における  
防災行動項目の抽出と整理を行った。

台風18号が10月4日～5日に岡山に最接近することが予想され、この台風の予想進路が想定シナリオと似ていたことから、検討会参加メンバーは事前の防災行動などの記録を行った。

(第2回) 平成28年11月1日 テーマ「いつ」

(検討会) 「いつ」をテーマに、防災行動の整理や、関連する他機関との  
連携確認、時間の整理を行った。

(第3回) 平成28年12月6日 テーマ「タイムラインの素案について」

(検討会) 前回までの検討会結果をふまえたタイムラインの素案について、  
行動項目、時間、体制の確認を行った。

(第4回) 平成29年1月17日 テーマ「誰が」

(検討会) 「誰が」をテーマに、各機関の行動内容と連携先を確認しながら、  
役割分担を行った。

(第5回) 平成29年2月20日 テーマ「机上演習」

(検討会) これまでの検討会で作り上げてきたタイムラインをもとに「机上演習」を行った。



旭川水害タイムライン《平成28年度版》とりまとめ

# 旭川水害タイムライン《平成28年度版》の運用について

## 平成29年度の取組

### 運用の確認

毎年出水期前に旭川水害タイムラインの運用について確認を行う。



タイムライン運用の確認イメージ

### 運用開始

タイムラインを活用した運用を行い、各機関が対応状況を記録する。



台風接近



### 改善

タイムラインを改善し、精度を高め、平成29年度中に次年度版を完成させる予定。



タイムラインの修正作業



### ふりかえり

タイムラインの記録を持ち寄るなど、検討会でタイムラインのふりかえりを行う。修正点や新たに追記すべき防災行動などを洗い出す。



台風後の参加機関による「ふりかえり会議」



## タイムラインは、終わりが無い (常に改善)

Step0  
平成28年度版  
完成式

旭川水害タイムライン《平成28年度版》の完成  
3月23日実施

Step1  
運用の確認

6月まで（出水期前）に、運用方法の確認

Step2  
運用開始

6月から10月下旬頃までの出水期に実施

Step3  
ふりかえり  
(検証)

タイムラインの運用後に実施予定（11月頃～）

Step4  
改善

ふりかえり（検証）を踏まえ、適時実施

Step5  
継続して運用

運用・ふりかえり・改善を行い、平成29年度版を完成する。（年度末まで）